

常陸大宮市 議会 広報

第 17 号

平成21年2月5日

発行 常陸大宮市議会



● 主な内容

第4回定例会	……………	P. 2
一般質問	……………	P. 4
行政視察報告	……………	P.12
請願・陳情	……………	P.13
閉会中の委員会	……………	P.15



感動の旋律に包まれて！



第4回 定例会

平成20年第4回定例会は、12月2日から18日までの17日間の会期で開催しました。

初日は、平成20年度の各種会計の補正予算、条例、人事案件など議案20件が上程され、一部の議案について採決しました。

4日は、議案質疑の後、11議案の採決をしました。

常任委員会は、5日及び8日に開き、付託された条例、請願陳情について審査しました。

一般質問は、11日と12日の2日間に8人が市政全般について市の考えを問いました。

最終日は、委員会付託の議案並びに請願陳情の採決と議員提案2件を可決し、閉会しました。

平成20年度補正予算

(単位：千円)

会計名	補正額	予算総額	主な内容
一般会計(第4号)	438,344	21,736,571	保育所入所委託料、小学校太陽光発電システム設置工事 ほか
国民健康保険特別会計(第2号)	13,994	5,429,634	人件費関係
事業勘定	2,611	5,200,251	
診療施設勘定	11,383	229,383	
公共下水道事業特別会計(第2号)	3,351	801,627	人件費関係
農業集落排水事業特別会計(第1号)	9,602	1,243,602	人件費関係
介護保険特別会計(第2号)	10,079	3,305,079	人件費関係
簡易水道事業特別会計(第2号)	13,048	945,048	消費税、光熱水費 ほか
温泉事業特別会計(第1号)	11,241	175,241	やまがたすこやかランド三太の湯管理運営委託料 ほか
後期高齢者医療特別会計(第1号)	27,040	389,440	後期高齢者医療広域連合納付金
上水道事業会計(第1号) 収益的収支	5,518	679,339	給水管移設、増設及び切廻し工事費 ほか

平成20年第4回定例会議決一覧表

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
議案第114号	平成20年度那珂地方公平委員会特別会計歳入歳出決算の認定について	総務	認定
議案第115号	常陸大宮市移動通信用鉄塔の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	総務	可決
議案第116号	常陸大宮市移動通信用鉄塔施設整備事業分担金徴収条例の一部を改正する条例	総務	可決
議案第117号	常陸大宮市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	生活文教	可決
議案第118号	常陸大宮市国民健康保険条例の一部を改正する条例	保健福祉	可決
議案第119号	常陸大宮市介護保険条例の一部を改正する条例	保健福祉	可決
議案第120号	常陸大宮市簡易水道事業設置条例等の一部を改正する条例	経済建設	可決
議案第121号	茨城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について		可決
議案第122号	字の区域の変更について		可決
議案第123号	(仮称) 御前山小学校屋内運動場新築工事請負契約の変更契約の締結について		可決
議案第124号	平成20年度常陸大宮市一般会計補正予算(第4号)		可決
議案第125号	平成20年度常陸大宮市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		可決
議案第126号	平成20年度常陸大宮市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)		可決
議案第127号	平成20年度常陸大宮市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)		可決
議案第128号	平成20年度常陸大宮市介護保険特別会計補正予算(第2号)		可決
議案第129号	平成20年度常陸大宮市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)		可決
議案第130号	平成20年度常陸大宮市温泉事業特別会計補正予算(第1号)		可決
議案第131号	平成20年度常陸大宮市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		可決
議案第132号	平成20年度常陸大宮市上水道事業会計補正予算(第1号)		可決
議案第133号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて：野澤知行氏(辰ノ口)		同意
議案第134号	教育委員会委員の任命について：根本淳子氏(山方)		同意
議案第135号	教育委員会委員の任命について：高沢たか江氏(小田野)		同意
議提第10号	地方議会議員年金制度に関する意見書		可決
議提第11号	JR不採用事件の早期解決を求める意見書		可決

議員研修

「地方分権改革について」

行財政改革推進調査特別委員会は、全国市議会議長会から講師を招き、全議員を対象に研修会を開催しました。

今年秋に国会へ提出される予定の新分権一括法案が、『地方政府の確立』『完全自治体の実現』など、地方自治体に真の自立を求めていることを厳しく受け止め、第二期地方分権改革に対する決意を新たにしました。



一括質問一括答弁方式…最初に全ての質問をし、順次答弁を受ける方式
一問一答方式 …一問ずつ質問と答弁を繰り返す方式

一問一答方式

岡崎 榮一 議員



資源ごみ

平成19年度決算の収入未済額について

財政健全化法の施行により、財政運営の健全化が求められ、本市においても市税など自主財源確保の重要性などの視点から、各種の収入未済額に焦点を絞り質問いたします。

一般会計、特別会計の合計収入未済額は9億8,000万円。収入未済額と不納欠損額の総額

は、11億6,276万円と提示されました。これについて、市長はどのようにお考えか伺います。

市長

市全体では、いまだに9億円ほどが収入されないということであり、大変憂慮すべきものがあると考え

ています。

今日の厳しい経済情勢、これが市民の生活に与える影響は大きなものがあり、滞納者の増加等にも起因しているものと考えています。こうした状況下での収納対策については、容易でないものがあると考えますが、市民の公平な税負担と貴重な自主財源確保という

観点から、大多数の市民の皆さんが納税の義務を果たしているにもかかわらず、税を支払う能力がありながら、納税を怠っていると見られるケースもありますので、そのような場合には、未収金の多い少ないにかかわらず、安易に不納欠損処分してはならないと考えさせられた次第です。

これからも市の重点施策の一つとして、未収金の徴収に努力していきたいと考えています。

廃棄物処理における市所有権の資源物の盗難について

市民がきれいに整理して資源物を出しているにもかかわらず、収集業務以外の業者と思われる方が持ち去ってしまうという。そのような状況下で、住民が警察に相談したならば、現在の市の条例では、注意はできるとは思いますが、検挙は難しいということですが、市の条例改正を行うのか伺います。

市民部長

常陸大宮市廃棄物の処理及び清掃に関する条例第8条の中に、市長が指定する事業者—いわゆる大宮地方環境整備組合が委託した業者以外の者は、資源物を収集し、運搬してはならない規定があり、第3項に違反して資源物を収集し、運搬した者に対しては、市長は

期限を定め、返還を求めることができることになってはいます。これについては、警察と、現条例での取り締まり等の協議をしてきました。事実の確認、車両ナンバー、場所、時間等がはっきりすれば、違反者に対して資源物の取り締まりができるということですが、現在は、この条例のまま

で、警察と連携を図りながら対応したいと考えています。

一般質問の記事は、質問者自身が書いています。

農業振興について

耕作放棄地を無くすには

農業に対して魅力が薄れ、専業農家の減少、農業離れ、農家経営者の高齢化など、農業の重要性は理解しつつも、将来への不安が重なり、農家には厳しい状況です。そこで、耕作放棄地の解消を早急に行うために、市が、補助事業を取り入れ、農産物を買入れる制度を作り農家に対して「安心感」を持つてもら

うことから始める必要があると思います。市が、積極的に耕作放棄地の解消に取り組む、農産物の買い入れをする努力をすべきでは。

市長

産地育成の推進を図ることを目的とし、低温倉庫建設費の一部補助などの支援や、生産販売での宣伝などに努めているところです

物産センターの販売方法について

が、買い入れなど、市が直接行うことは難しいと思います。

経済部長

方法として販売拡大や税金にもつながるのでは。

直売所が9カ所、その内、生産者の顔写真掲載が4カ所、包装に顔写真採用が2人です。消費者への安全安心には導入を検討していきたいとの意向があり、できる限り支援をしていきたいと考えています。

市財政状況について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律が制定され、収入未済額や将来には合併特例債の消滅もあり財政面の不安感はぬぐい去れません。市財政健全化対策として今後、市民税、固定資産税、市営住宅や施設の使用料、家庭から出るゴミ処理手数料などの、税の値上げを考えているか。

副市長

市民税、固定資産税については特異な場合を除いて(夕張市)、全国一律です。住宅、施設については制度上の改定を別にして、現在のところ料金値上げは考慮していません。ゴミ処理手数料は条例化しておりませんが、ゴミ袋代として実質

的にいただいています。新たな税源にシフトしていくことは必要ですが、基本的には地域活性化対策を強化して商業施設の集積を図り、たくさんの方の工場立地など、財源をとれるような仕組みが大切と理解しています。

その他の質問事項

- ・ 携帯電話について
- ・ 太陽光発電について

税務相談



耕作放棄地

堀江 鶴治 議員

一問一答方式

食糧主権と農業問題について

紫波町を視察しての循環型まちづくりの取り組みについての感想は

平成20年11月に、岩手県紫波町の循環型まちづくりについて視察をしてきましたが、町民、事業者、行政の役割分担を明確にし、町民や関係者の合意のもとに、一体となって循環型社会づくりをめざし、長期展望を持って取り組んでいきます。その点で当市は大きな遅れがあるのではないですか。

経済部長

紫波町においては、10年後を視野に入れた「新世紀未来宣言」の中で、資源循環のまちづくりをめざしています。特に印象に残ったのは、自然の恵みを大地に返す有機資源100%循環活用を目指した生ゴミ、もみ殻、家畜排泄物などを合わせた堆肥づくりです。年間約1、100トンを製造し、町内の農家に

販売し、ほぼ売売とのこと。当市においても、現在バ

イオマスタウン構想を練っていますのでこれらを参考に、取り組んでいきたいと考えています。

食糧主権の確立を

12月13日に、WTO（世界貿易機関）の閣僚会議が開かれますが、WTO議長案では、重要品目にできるのは、農産物全体の4%、こういう内容で一層の輸入拡大を日本に求めてきています。この案を、認めるならば、日本の農業は、壊滅状態になる事も予想されます。6%の案もあり

ますが、そうした場合、現在※ミニマムアクセス米の輸入量は、年間77万トンですが、今後114万トンに増え、米生産農家の受ける打撃ははかり知れませんが、1961年に開かれた、食糧サミット以降、アメリカとか、WTOや、国際通貨基金など国際機関の干渉

を受けずに、自国の食糧政策は自国の国民が決めていくことができるという権利が、どこの国にもあるんだという考え―「食糧主権」で自国の農業を守ろうとする考え（主張）が今、世界中に広がっています。もっと自給率を高めていく観点から、私はWTO議長案は拒否し、食糧主権を確立して、事に当たるべきではないかと考えますが認識を伺います。

経済部長

WTO協定がスタートして以来、農家が直面して来たのは、農産物輸入の急増と価格の暴落などです。これらが農業後継者の育成に大きな弊害をもたらしていると考えます。消費者においては、食の安心・安全に対する不安があり、食糧主権の立場に立った、農業政策の確立が、各地で求められているのが現状であると思います。市としても、国、県関係機関と、協議・検討していきたいと考えています。



その他の質問事項

- ・霞ヶ浦導水事業と那珂川の清流を守る問題
- ・少子化対策を強化し、小中学校の存続を
- ・全国学力テストに関する問題について
- ・学校給食の民間委託問題について
- ・茨城交通の民事再生法の申請と住民の足の確保の問題

※ミニマムアクセス米・・・外国産米の最低輸入量

平成21年度の予算編成について

市長の施政方針からは、簡素で効率的な行政改革とあります。来年度は全庁あげて歳入・歳出両面から思い切った見直しを行うとのことですが、幾つかのキーポイントを伺います。

市長

歳入の根幹であります市税収入は、固定資産税の評価替えなどの影響により大幅な減収が見込まれるとともに、地方交付税も引き

続き抑制基調にあることから、一般財源の総額確保は難しく、限られた財源の中で厳しい行財政運営を行う状況です。そのような中で、積極的な行財政改革に取り組みとともに事務事業の抜

本的な見直しや徹底した経費の削減に努め、市内循環交通システムにおけるデマンドシステムの導入や、市内道路網の整備、下水道の整備等、市の総合計画に位置づけられた主要事業につ

きまして、十分精査・検討し厳選した上で、地域バランスを考慮しながら編成します。

資源物利用について

1 ※バイオディーゼル燃料精製使用事業者への協力推進は。

ゼル燃料精製の展示コーナーを設けます。

2 携帯電話リサイクル啓蒙推進は。

3 「もったいない」アイデアコンテストの創設は。

市民部長

市バイオマスタウン構想案の中で、学校給食センター・温泉施設等の廃食用油を回収して、精製企業へ提供して燃料買い取りを行い、その有効活用を促進していくため検討をしています。

1月17日のエコライフフォーラムでは、使用済み天ぷら油からバイオディー

市民部長

希少金属である金・銀・パラジウム・プラチナ等が含まれているとのことですので、リサイクルマニユアルや旬報等での周知、各種団体へ呼びかけをして、販売店に持参してリサイクルが進むよう啓蒙を図っていきます。

市民部長

この運動は、県外では宇都宮市や福島市などで取り組んでいます。その創設については、常陸大宮市環境市民会議の中で提案をしています。市民から可燃ごみとして出される中には、かなりの資源があり、まさに「もったいない」ということがあります。現在、小中学校

で給食に出されている牛乳パックのリサイクル推進のため、教育委員会との連携を図り検討しています。エコライフフォーラムを機会として、市民にごみ削減・資源物の再利用等を周知徹底して協力促進を図っていく考えです。

その他の質問事項

- ・都市計画について
- ・国の経済対策について
- ・デマンド交通システム等導入について



エコライフフォーラム

後期高齢者医療制度について

①後期高齢者医療制度については、全国で30万人の滞納が発生しています。年金から天引きされない「自分で納める人」との情報ですが、いくら軽減されても払えないことが理由です。常陸大宮市の状況を伺います。

市民部長

75歳以上の保険料の滞納者は、253人で365万円となっています。

②来年度に向けての見直しについて伺います。

市民部長

21年度以降について、9割軽減制度が設けられ、7割・5割・2割の4段階になります。

この制度は国の政策であり、運営は茨城県広域連合になりますので仕組みを維持したいと考えます。

市民部長

群馬県太田市では、75歳から79歳の高齢者に、5,000円の独自給付を行ったり、東京都日の出町では、医療費の自己負担分1割を町が負担する

等、負担の軽減を図るとしていますが、市の考えを伺います。

保健福祉部長

これらの施策を実施するにはそれなりの財源が必要であり、法制度以上の給付はできないと考えています。

景気対策について

未曾有の経済状況の悪化で市内、市民への影響も多大であると思います。

- ①市内の企業倒産件数・廃業件数
- ②失業者数
- ③非正規就業数等の状況等について伺います。

経済部長

①世界的な金融危機は、市内企業においても大きな影響を及ぼし、本年度において倒産・廃業した企業は7件であります。

②失業者数は9月末現在

雇用保険受給者実人員432人であり、大幅な増加となっています。

③県内における派遣の求人数は、951人で、有効求人数も17ヶ月連続の減少となっています。





市民バス

小規模事業者登録制度について

少額随意契約については地元業者優先で発注がおこなわれていると思いますが、契約相手方の市内外の割合はどのようなものなのでしょうか。

入札参加資格を取得していない市内の小規模商工業

者を対象にし、市が発注する少額な工事、物品購入、委託等の受注を希望する商工業者の登録を受け付け、見積り先の選定資料とすることにより、市内小規模商工業者の受注機会の拡大を図るこの制度の導入を提案

デマンド型交通システム導入について

〔導入の効果〕

私は郡山市、またデマンド型交通システムを7年前に初めて導入した南相馬市小高区のデマンド型交通システムに関する全国シンポジウムに2回参加してきました。その中で、デマンド型交通システム導入の効果として3点をあげることが出来ます。一つは利便性、住民サービスの向上、二つは、地域の活性化、三つは、高齢者の行動変容です。市長はどの様に考えているの

します。「市独自の地域経済対策」のひとつになるものと考えます。

総務部長

契約事務そのものは各発注主管課で行っており、市

か伺います。

市長

デマンド交通システムの優位性は、一般的に地域住民にとって行きたいとき、行きたいところへ戸口から戸口へ移動できるきめ細かいサービスが受けられることが言われています。また、導入によって地域内の人や物の移動が活性化すること、地域が活性化すること、副次的な波及効果も発生すると言

内外の業者の割合の取りまとめはしていません。提案の新たな制度については現在考えていません。

その他の質問事項

- ・ 保健福祉、教育施策について
- ・ 社会福祉協議会について

われています。中心市街地にぎわいの創造、商店街の住民の誘客、高齢者の外出機会の増加による健康の促進などです。

今後、市内循環交通システム検討委員会の中で検討しながら、デマンド交通システムを導入する方向で、より利便性の高い市内循環交通システムをいち早く導入したいと考えています。

〔利用動向調査〕

住民がふだんどこに移動する要求があるのか、現状の交通機関のどこに不満をいっているのかをきちんと把握する必要があると思

総務部長

います。そのために、現在の市民バスの利用者に、バスの中で書ける簡単なアンケートを実施するか、高齢者クラブ等を通じた説明、回収を行うなど、効果的かつ効率的に利用動向調査をすべきと思います。

アンケートにも、そのような項目が入っていますので、新たに利用動向調査は実施する予定はありません。

平成21年度の予算編成について

① 予算編成についての基本的な考え方について、また重点はどこに置くのか伺います。

② 予算編成方針では、21年度の地方交付税が対前年比3.9%削減され、約2億8千万円の減額になると予想されるが、この

減額分の対応について伺います。

市長

① 一般財源の確保に困難さが増大してきている状況の中、デマンドシステムを導入、市内道路網の整

備など、市総合計画に位置づけられた主要事業につきまして、十分精査検討し、予算編成をしていきたいと考えています。

② 歳入においては、市税等の徴収率の向上に努め、財源の確保を図りたい。歳出では、より積極的な

行財政改革を打ち出して取り組み、経費の節減、縮減、削減に努力しながら、予算編成を行っていきたいと考えています。

その他の質問事項
・燃料費の適正価格の購入について

財政状況の実態を分かりやすく公表すべきではないか

広報の10月号では、19年度の財政状況は国の定める経営健全化基準等を超える数値はなく、財政状況は健全な状態にあると書かれています。市長は「大変苦しい行財政運営を強いられている。状況はまさに危機的である」と答弁しています。市長は危機的と言って、広報では健全であるのでは、市民は分からなくなってしまうと思います。

なぜ、当市の財政が厳しいのか、市はどのような努力をしているのか、今後の目標、計画について分かりやすい形で説明をすべきです。

市民の皆さんからお預かりした市税、50億円近い税金が、人件費になっているというの、市民は分からないと思います。本当の姿、ありのままを公表して市民に理解してもらう必要があります。見解を伺います。

副市長

指摘のとおり、安全であるとか、厳しいとか分かりづらいついのは事実です。安心感で言えば、19年度末で市の全借入金は約400億ですが、実際の借入金はその45%の186億です。職員数も16年度から来年度になると70〜80名は減ってきています。一方、不安感で言えば、地方交付税や補助金が減ってきてい

ます。この様な所をどう厳しくなるのか、どう安心なのか、分かりやすく提示する。その辺については、十分考慮するように担当に指導していきます。

ます。この様な所をどう厳しくなるのか、どう安心なのか、分かりやすく提示する。その辺については、十分考慮するよう担当に指導していきます。



合併特例期間の終期を見据えた自立とまちづくりへの気概を問う

合併直前の人件費を例にとれば、人件費が税収の半分にも満たない自治体もあれば、税収の約二倍に達する自治体もありました。一側面にすぎませんが、合併は、こうした課題、困難を乗り越えて成し遂げられた一大事業です。合併から4年経った今日、地方分権の受け皿たり得ているか、財政基盤が強固になって自治能力が向上したかなど、合併を振り返って、市長の率直な所感を伺います。

市長

合併の一年半前に行われた山方町長選挙で私は、現在の5町村の組み合わせによる合併を公約に掲げ、相手候補は大子町との合併でしたが、結果は5町村による合併が実現して今日に至っております。大変なエネルギーを使って茨城県で

最初の平成の大合併を成し遂げた途端、県幹部に「次は常陸大宮と大子と常陸太田との合併だな」と言われましたが、私は即座に否定しました。地域中核病院の誘致という今回の合併の目玉を上回る目標、理念がなければ住民の支持は得られないし、これ以上の拙速は避けなければならぬ。今後、道州制導入の議論の中から更なる合併を迫られることを危惧しています。合併はまた、国の財政再建の色彩が極めて強いものであり、政府のリストラ策とも言えます。合併のメリット、デメリットを冷静に検討する必要があるし、その時期に来ていると思います。

合併関連の国の財政支援措置について伺います。
※合併特例債は26年度が終期、あと6年と考えてよいか、また、現在までの主な充当事業と償還計画は。

総務部長

終期は26年度。19年度までの4年間で総額52億4千万円を起債。そのうち済生会病院建設事業に34億3千万円、市道整備事業に7億8千万円、豊かな自然と調和したまちづくり基金造成事業に4億7千5百万円、そのほか御前山小学校建設事業、地域総合運動公園整備事業などです。15年償還なので平成34年度に償還が終了する予定です。

合併補正額は5年で約6億、年1億2千万均等との理解でよいか。

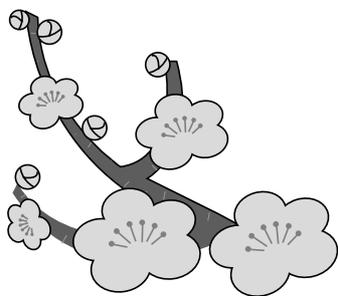
総務部長

合併補正額は、来年度まで合計約6億円が措置される予定です。

財政支援措置の終期が見えてきた。自立を考え、相応な覚悟で対策を講じる必要があると思いますが、市長の考えを伺います。

市長

積極的に事務事業の見直しを行い、簡素で効率的な行政運営を推進するしかない。企業誘致、自主財源の確保に全力で取り組み、市債の抑制など効果的な財政運営に努める覚悟です。



総務

今日市民活動が活発になってきている中、公共サービスへの要望も多様化し柔軟な対応が求められています。北海道北広島市・ニセコ町の両自治体は市民が行政の対等なパートナーとなる市民参加の協働の推進を掲げ、憲法や自治法などの法の精神に基づき「自主性」、「自立性」、「透明性」を基本原則とした条例を全国に先駆けて制定しました。

これにより住民が相互に連携し、市民と行政が適切に役割を分

担し協力し合っていく信頼関係、責任を持って事業を実行していく自立の精神など全体的な意識改革を進めていきました。



・市民参加・協働の推進について
・まちづくり基本条例について

生活文教

愛知県春日井市、小牧市はISO認証を取得。小牧市においては学校版環境ISO認定制度を設けるなど、環境に対する積極的な取り組みをしています。本市でも「常陸大宮市地球温暖化対策実行計画」の推進のほか、早急なエコアクション21の認証取得が課題であります。環境負荷やエネルギーコストの削減、職員の意識改革や目的意識の向上に努めることは、地域リーダーとして果すべき自治体の役割です。

また、学校では総合学習の一環として、環境についての学習が進められていますが、さらに、地域の特性を活かした様々な環境教育の取り組みが重要です。



・ISO認証の取り組みについて
・学校における環境教育について

行政視察報告

常任委員会

石川県輪島、七尾の両市とも平成19年3月に能登半島地震(M6.9)で被災地となり、復興活動を通じ地域福祉事業が住民一体となり組織化され、より活発になりました。輪島市は、住民の発案で「子宝支援事業」を開始し、不妊治療費等の手厚い公的助成を受けています。



・子育て支援・少子化対策について

七尾市

保健福祉

は、自治組織の体制が整備され、また、子育て支援事業は、出産から育児まで仕事と家庭の両立支援、心理的負担軽減策が充実しています。当該市は和倉温泉街があり、ホテル旅館などサービス業の就業人口が多く夜間、宿泊の保育にも地域の実情に即した施策が図られています。



経済建設

岩手県紫波町では循環型まちづくり条例を制定し、「今の環境を保全し、創造し、百年後の子どもたちに確実に引き継ぐ」事を目標として、循環型まちづくりをスタートしました。森林資源と林業再生、未利用森林資源の利活用促進、県林業技術センターとの共同推進など、自然環境に配慮し



・森林資源の利活用対策

た取り組みは見習うべき点が多くありました。当市が持つ60%を占める森林資源の有効活用は、環境・エネルギー問題、さらに地域経済振興や公益機能の向上など直接的、間接的効果に期待が持てる取り組みです。市民生活と密着し、森林に新たな付加価値を付けることは、市全体の発展と活性化に大きく貢献するものと考えられます。

あなたが出された 請願。陳情は！

請願

番号	件名	提出者	紹介議員	付託委員会	審議結果
第5号	鷺子西目・仲島線の整備に関する請願書	鷺子区長 初原 智明 他20名	岡崎榮一	経済建設	採 択
第6号	常陸大宮市門井地内 市道8-1113号線（塙堂坂線）道路改良に関する請願書	石崎 隆史 他18名	川上 博	経済建設	採 択
第7号	金井地区水路整備に関する請願書	長山 正雄 他85名	淀川茂樹	経済建設	採 択
第8号	JR 不採用事件の早期解決に向けた意見書採択の請願	国鉄労働組合 水戸地方本部 執行委員長 佐藤清司	岡崎不忘	経済建設	採 択



門井地内



鷺子地内

陳情

番号	件名	提出者	付託委員会	審議結果
第9号	携帯電話不通話地域の解消に関する要望書	照山区長 渡辺 光一 他65名	総 務	採 択
第10号	市道6628号線、一部市道6638号線の拡幅工事延長に関する陳情書	上大賀区長 河野 達之 他111名	経済建設	採 択
第11号	大宮市泉地内筆界未定地に関する補助金交付の陳情	泉区長 倉持 進一 他8名	経済建設	採 択

農政意見交換会が開かれました!

昨年11月7日におおみやコミュニティセンターにおいて農業委員会、認定農業者連絡協議会、集落営農組合、常陸大宮市、議会経済建設常任委員会等63名が出席し、意見交換会が行われました。木村與四郎農業委員会会長を座長に一問一答方式で進められ、認定農業者代表から、担い手対策、生産経営対策等、集落営農組合代表からは現状の交付金の問題や支払い等について質問や要望が出され、市の担当部局のほか、地域農業改良センターやJA茨城みどりから説明があり、活発な発言や実態に即した提案が多く出されました。

耕作放棄地の増など市内農業が抱えている困難な状況や実態が浮き彫りになり、早急な農業再生対策の必要性を強く感じました。一方、市内農業従事者の中には農業の基盤を着実に確保している経営者や、全国に誇れる農業法人があることを確認でき、有意義な意見交換会となりました。



意見書

意見書を2件可決しました。

地方議会議員年金制度に関する意見書

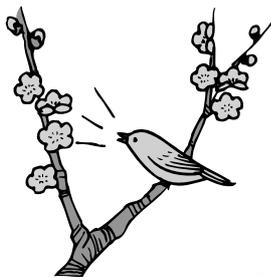
提出先

- 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣

JR不採用事件の早期解決を求める意見書

提出先

- 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・厚生労働大臣・国土交通大臣



議会のゆびと

11月			10月																									
5日	3日	1日	31日	30日	29日	28日	27、29日	25日	24日	22、23日	20日	19日	17日	15日	12日	8日	6日	5日	2日									
常陸大宮市遺族連合会大宮支部戦没者慰霊祭	ふるさと祭りおおみや「第20回ふれあい広場」	第23回国民文化祭開会式・オープニングフェスティバル(サテライト会場)	保健福祉常任委員会	行政改革推進調査特別委員会	NS富田株式会社設立及び工場披露・千曲鋼材株式会社茨城事業所増築竣工披露	総務常任委員会	茨城県市議会議長会定例会	生活文教常任委員会行政視察研修	舟生ふるさとまつり	陸上自衛隊勝田駐屯地及び施設学校開設57周年記念式典	議会広報常任委員会	茨城県市議会議長会議員研修会	区長会役員との懇談会	第5回上野支部市民運動会	第4回常陸大宮市近郊野球大会	第4回常陸大宮市近郊野球大会	第5回上野支部市民運動会	東北鹿行市議会議長会定例会	筑西市議会議会運営委員会視察研修来庁	筑西市議会議会運営委員会視察研修	議会広報常任委員会	第35回山方地域体育祭	大宮高齢者クラブ連合会スポーツ大会	議会広報常任委員会	第59回茨城県消防ポンプ操法競技大会東北地区大会	議会広報常任委員会	ヒースコート3校ホームスティ受け入れ事業歓迎レセプション	2日

閉会中の委員会のうごき

議会運営委員会・各常任委員会・行財政改革推進調査特別委員会は、議会の閉会中も次のような調査や審査を行っています。

議会運営委員会

1月26日(月)から28日(水) 山口県周南市、萩市
 ・議会改革・議会活性化の取組について
 ・定例会の流れについて

保健福祉常任委員会

2月18日(水) 福祉行政について
 健康づくりについて

総務常任委員会

1月29日(木)
 地上波デジタル放送の難視聴及び携帯電話不通話地域の実態について

経済建設常任委員会

2月中旬 農業の振興対策について
 森林資源の利活用対策について

生活文教常任委員会

2月上旬 環境行政について
 教育環境について

議会広報常任委員会

1月 7日(水) 議会広報第17号の編集について
 1月14日(水) ”
 1月15日(木)から16日(金)
 ・岩手県金ヶ崎町議会
 議会広報の編集について
 1月23日(金) 議会広報第17号の編集について

行財政改革推進調査特別委員会

1月13日(火) 組織機構・外郭団体・附属機関・
 第3セクター・公社改革
 1月30日(金) ”



男性・70代
 毎回傍聴しているが、
 昨今は議員の勉強不足を感じ、
 質問者も毎回同じなので、
 他の議員のを聞いてみたい。

男性・60代
 議員は、しっかりと市民の立場をふまえて質問していた。市側には、市民の立場を意識して行政に当たってもらいたい。

男性・60代
 一時間と決められているが、
 答弁が時間を超過する場合は続けてもよいのではないか。

一般質問に対する感想

12月定例会

ぼんちやまっ子の声

12月																												
22日	16日	14日	12日	7日	5日	2~18日	30日	28日	27日	26日	22日	18~20日	20日	17日	16日	15日	14日	11~12日	10~12日	9日	7日	6日	5~7日					
行財政改革推進調査特別委員会	J A 茨城みどり低温倉庫竣工式権大会	第4回常陸大宮市青少年空手道選手権大会	議会運営委員会	第5回常陸大宮市剣道錬成大大会	常陸大宮吹奏楽団定期演奏会	茨城県市議会議長会臨時会	第4回定例会	青少年をたたえる市民の集い	第4回かがやきまつり祝賀会	平成20年度金婚及びダイヤモンド婚祝賀会	行財政改革推進調査特別委員会協議会 研修会・行財政改革推進調査特別委員会	常陸大宮都市計画審議会	議会議長会	平成20年度いばらき森林の感謝祭	市町村ア카데미特別セミナー(市町村議会議員政策集中講座)	日中平和友好条約締結30周年記念日 中友好拡大県民の集い	全員協議会	「ごぜんやままつり2008」オー ブニングセレモニー	第11回やまがた宿芋煮会	自治体消防制度60周年記念茨城県消防 防ボンプ操法競技大会中央大会	全国市議会議長会第85回評議員会	経済建設常任委員会行政視察研修	保健福祉常任委員会行政視察研修	第24回山方農産物物品評会	常陸大宮市バレーボール連盟第8回 ママさんバレーボール大会	第2回常陸大宮市農政意見交換会 (経済建設常任委員会)	関東市議会議長会第1回理事会	総務常任委員会行政視察研修

第1回定例会会期日程（予定）

日	曜	会議	付記
3月2日	月	本会議	開会 議案説明
3月3日	火	休会	議案調査
3月4日	水	休会	議案調査
3月5日	木	本会議	質疑
3月6日	金	常任委員会	
3月7日	土		
3月8日	日		
3月9日	月	常任委員会	
3月10日	火	休会	議案調査
3月11日	水	常任委員会	
3月12日	木	本会議	一般質問
3月13日	金	本会議	一般質問
3月14日	土		
3月15日	日		
3月16日	月	本会議	一般質問
3月17日	火	休会	議案調査
3月18日	水	休会	議案調査
3月19日	木	休会	議案調査
3月20日	金		春分の日
3月21日	土		
3月22日	日		
3月23日	月	休会	議案調査
3月24日	火	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

※日程は、都合により変更する場合があります。

表紙の言葉

市の生涯学習フェスティバルの一環として開催された「第17回常陸大宮吹奏楽団の定期演奏会」の一コマです。

クラシック、ポップス、近郊中学校吹奏楽部による演奏など3部構成によるプログラムに、来場者は文化の香り高いひとときを過ごしました。

（平成20年12月7日 阿久津猛氏 撮影）

発行責任者 常陸大宮市議会議長
 編集 議会広報常任委員会
 〒319-2292
 茨城県常陸大宮市中富町3135-6
 TEL 0295-52-1111（代）内線413
 0295-53-0393（直）
 FAX 0295-52-2186
 eメール gikai@city.hitachiomiya.lg.jp
 URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>
 市議会広報は、ホームページでもご覧になれます。

委員 掛札 行雄

平成21年が、希望と喜びをもつてスタートしました。昨年の後半から世界的に暗い話題ばかりでした。私たち議員は、目まぐるしい社会情勢に対応して議員活動をしていかなくはなりません。今年の干支は丑年ということ、ゆつたりと安全に進んでいきたいところです。議会広報も、新しい委員構成になって2号目の発行となりました。今後も議会活動を市民の皆様にご理解いただくため、読みやすく、わかりやすい広報紙づくりを委員一丸となって目指していきます。

編集後記

颯爽と行進!



1月10日、寒風の中、出初式が行われました。

常陸大宮市消防団女性部は、平成19年4月1日に発足し、安全安心な市民生活のため日々活動しています。

今年10月22日に横浜市で開催される全国女性消防操法大会に、茨城県代表として出場することになっています。



議会を傍聴してみませんか?

第4回定例会の傍聴者は51人でした。